

「マルチステークホルダー方針」

当社の使命は、社は「おもしろおかしく」のもと、高度かつ最先端の分析・計測技術により科学技術の発展と地球環境保全をはじめ、持続可能な社会の実現に貢献することと考えています。株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの信頼関係を構築し、適切な協働により企業経営に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引き上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、ベンチャー精神をもとに設立されたことに誇りを持っています。従業員を大切な財産であると考え「人材」ではなく「人財」と表現し、一人ひとりの起業家精神を維持し、個性と可能性を最大限に発揮するためのステージとその多様性を最大限に生かせる環境を整えます。経営資源の成長分野への積極的な投入、従業員の能力開発と柔軟な発想力を後押しする制度や施策により、持続的な成長と生産性向上、イノベーションの創出に取り組み、付加価値の最大化に努めます。その上で、生み出された収益・成果に基づいて「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引き上げを行うとともに、賃金以外の総合的な処遇改善として、従業員のワークエンゲージメント向上や事業活動推進の加速に資するよう、引き続き人財への投資に積極的に取り組み、従業員への持続的な還元をめざします。

(個別項目)

具体的には、2022年に管理職、2024年から一般社員の資格制度を改定し、業績や物価変動などの環境変化を踏まえた賃金の引き上げと賞与支給を実施しました。働き方においては、定年延長社員制度導入等によるシニア活躍の推進、テレワークの活用や男性育児休暇の取得促進等ワークライフバランスの充実に取り組んでいます。また人財投資としては、階層別の研修プログラムの実施、海外派遣制度（出向および研修）の活性化、キャリアチャレンジ制度（国内グループ会社間での公募によるマッチングおよび多様な経験を積むためのOpen Experience制度（期間限定の異動））の導入等により、人財育成とキャリア自律を体系的に推進しています。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【2022年8月10日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/15766-05-21-kyoto.pdf>】

以上

2024年1月10日